

R1年度 PTA本部便り ②

講演会の報告です！

本部役員の仕事の1つとして、「会議に出る」があります。

伊奈特内での会議もありますし、県南5校の会議、県内の知的障害校の会議、県内特別支援学校の会議、関東…全国…の会議もあります。大抵は、PTA 総会のように年間の報告と予定の可決です。

会議だけでは、遠路はるばる来てくださったのに申し訳ない、とってかどうかわかりませんか、講演会もセットになっています。印象に残った講演会、分科会をご紹介します。

茨城県特別支援学校知的障害教育校PTA連絡協議会（略して茨知P） 第1回会員研修会

茨城県の知的障害校PTAの集まりの会です。講演会として社会福祉法人理事長であり川崎市自閉症協会代表理事の明石洋子さんの「自立への子育て」を聞きました。

知的障害と自閉症を持つ息子徹之さんは今46歳。川崎市職員として動物園で働いているそうです。小さい頃は多動で、言葉がなかなか出ず、明石さんが言葉を教えようと頑張ったけど、自傷他傷行為が表れてしまった。そこで方針を変えたのだそうです。

息子さんの明るさを殺さず、こだわりを生かす育て方とは？「詳しくは著書をご覧ください」とのことでしたので、PTA会費で本を購入しました。第2会議室（小学部昇降口を入れて左側、掲示板の向かいの部屋）に置いてありますので、レンタルしてください。

心にチクリと刺さったのは、「障害者だから」と、親が言い訳をして子供の選択肢を狭めることは子供の人権を侵害しているというご指摘。いや実際には難しいですよ～と思っている私はすでに人権侵害してしまっているのでしょうか。

茨城県特別支援学校PTA連絡協議会（略して特P）第1回会員研修会

こちらは茨城県の、知的プラス身体や盲学校も含んだ特別支援学校の集まりです。講演会は、NPO法人さくらネット代表理事の石井布紀子さん「防災から広がる合理的配慮とPTAの役割」。さくらネットは、学校防災に関していろんなアプローチをされています。

災害への日頃の備えというとな備蓄品や避難先などに考えが行きますが、「心の準備」も大事なのだそうです。例えば、自衛隊の人に救助されるとき、拒まず素直に助けをもらうことは意外に難しいと聞き、ハッとしました。自閉症の我が子達は頑固なところがあるので、身につまされます。日頃から支えてもらって前に進めた経験が、非常時の安心感につながる。そして安心感があると、助けをもらえる体勢になれるのだそうです。

全国特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会（全知P）全国研究協議大会

大会テーマは「多様性を認め合い共に育む心のネットワーク～すべては子供たちの笑顔のために～」(長い)

第3分科会（テーマは安全・安心な場を創る）で聞いた、福岡県立太宰府特別支援学校の取り組みをご紹介します。

5つの市から児童生徒が通う、知的障がいと肢体不自由部門を持つマンモス校である大宰府特支は、「太宰府市民対象の福祉避難所」にも指定されています。伊奈特と似た状況です。

最近多い大規模災害に備えるため、PTA役員と教職員で実行委員会を結成して、アンケートを実施、マニュアルを編成。

在校生は、自宅近くの避難所に行くのが不安という家庭が多く、半数は学校への避難を希望していることがアンケートで分かりました。

学校避難の流れは発災後、避難を求める者が防災部長へメール（全家庭に防災部長のメルアド配信？）→PTA 会長へメール→校長へ連絡→避難所開設→学校安心メール配信→学校への避難となるとか。

市が指定する福祉避難所と、児童生徒関係者避難所を、エリアを分けて開設。その後児童生徒はさらに、知的障がい部門と肢体不自由部門に分ける。

太宰府市以外に居住していても、在校生とその家族を受け入れる。ただし、家族は児童生徒支援に必要な最小限の人数で、あらかじめ届け出た者。卒業生は対象外。

避難所の運営は、行政・学校から成る本部と、その下部組織として「福祉避難所学校組織」、「PTA・学校組織（サポート委員会）」を設置。保護者が積極的に運営に協力することが前提とか。

とても素晴らしい取り組み。でも、わが身に置き換えると、実践できるかな…？と弱気になります。そして物資は、市の福祉避難所には大宰府市が調達しますが、児童生徒避難所は基本的に自助。しかし最近、関係5市との協議が進んでいるとか。

伊奈特も主に4市から児童生徒が通学しているので、児童生徒が学校に避難することになれば、物資の供給を4市にお願いできればいいのですが。基本的に自助としても、つくばみらい市に負担をかけないでいるのは難しいでしょうから。

ちなみに、分科会は4つあり、他は「地域との連携」、「生涯学習活動」、「特色あるPTA活動」がテーマでした。

全知Pは、今年は栃木県で開催でしたが、来年は沖縄、再来年は北海道で開催されるそうです。旅費はPTAからは一人分しか出ませんが、家族といっしょに行ってもかまわないようです（お子さんのためのレクリエーションも用意されています）興味ある方はぜひご参加を。

（文責；酒井）